

平成26年度県民芸術劇場公演

L.V.ベートーヴェン

佐倉市民音楽ホール
開館30周年記念演奏会

第九演奏会

「レオノーレ」序曲第3番



Daisuke Naoi



Yukiko Shinbo



Masako Imura



Jun Suzuki



Yasuto Kasuga

指揮：直井大輔 演奏：ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉
出演：新保友紀子 猪村雅子 鈴木准 春日保人
合唱：佐倉「第九」合唱団



2014年12月14日(日) 午後2時開演(午後1時30分開場)

● 佐倉市民音楽ホール (京成うすい駅下車徒歩5分) (座席数:667席)

全席指定:3,500円

【プレイガイド】・JR佐倉駅前観光情報センター ☎043(485)9700 ・佐倉市観光協会(京成佐倉駅南口) ☎043(486)6000

【主催・お問い合わせ】佐倉市民音楽ホール ☎285-0837 佐倉市王子台1-16 ☎043(461)6221

※無料託児室あり、公演2週間前までに要予約。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

Profile

直井 大輔(指揮) Daisuke Naoi

1971年東京生まれ。武蔵野音楽大学音楽学部器楽科でトロンボーンを前田保氏に、バス・トロンボーンを井上順平氏に師事。在学中から指揮者を志し、指揮法を山崎滋、エンリケ・マツォーラ各氏に師事。1993年より巨匠ウラディーミル・フェドセーエフ氏と親交を持ち、指揮の手ほどきやアドバイスを受けている。

1997年、東京芸術大学音楽学部指揮科入学。指揮法を故佐藤功太郎、小林研一郎、ハンス・マルティン・シュナイト各氏に師事。同年、新国立劇場オープニング公演ワーグナー「ローエングリン」のアシスタントを務め、以後、二期会オペラ等の副指揮者として故佐藤功太郎、故若杉弘、故岩城宏之、他各氏の下で多くのオペラ製作に携わるとともに、ゲンナジー・ロジェストヴェンスキー氏による東京芸大「世界のマエストロを迎えて」シリーズ第1回公演にて、ハイドン「四季」の合唱指導アシスタントを務めた。全国4つの国立芸術大学が参加する合同オーケストラ等の公演に3年連続出演、台東区旧奏楽堂「木曜コンサート」にも二度にわたって出演し、指揮者を務めた。藝大フィルハーモニアによる学内演奏会では、ラヴェル「ダフニスとクロエ第二組曲」を指揮し、小林研一郎氏に「オーケストラから素晴らしい響きを見事に引き出した」

と絶賛される。杉木峯夫氏(水戸室内管弦楽団首席奏者、芸大トロンボーン科教授)の推薦により、大学等地域開放特別事業「吹奏楽を楽しむ」演奏会の指揮者を務め、練習風景からのその模様は、NHKラジオ、新聞、CATV、雑誌などのメディアを通じて報じられている。

早川和子氏の新作オペラ「師門物語」で指揮者に抜擢されデビュー。2003年、秋篠宮妃殿下、内親王殿下ご臨席のオーケストラ演奏会で指揮者を務めた。

2004年度、東京芸術大学音楽学部非常勤講師。別府アルゲリッチ音楽祭「子供のための無料コンサート」で金聖響氏と共演。藝大シンフォニカ英国公演にも同行した。岐阜県指定有形民俗文化財「かしも明治座」にて行われた公演で東京芸大の教授陣と共演し、その模様は読売新聞日曜版のトップ記事に掲載された。また附属高校オーケストラの指導でも認められ、2005年度には同大音楽学部附属音楽高校非常勤講師を務め、定期演奏会でストラヴィンスキー「火の鳥」などを指揮し、大成功をおさめた。

広島交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ、ニューフィルハーモニー千葉などをはじめ、各地の演奏団体に多数招かれており、その活動は各方面で好評を博している。千葉市音楽協会会員。

新保 友紀子(ソプラノ) Yukiko Shinbo

佐倉市出身、千葉女子高校を経て、東京芸大音楽科卒業。

芸大在学中に劇団四季ミュージカル「新・裸の王様」に主演。文学座研究所で演技を学ぶ。

1995年に渡欧、ウィーン、イタリア、ブリュッセルなどで研鑽を積む。

1997年フランスのトゥールーズ・キャピトル座、ニース・オペラ座のオペラ・ガラ・コンサートにて、世界的バリトン、ホセ・ファンダム氏と共演し、ヨーロッパデビュー。バイエルン室内歌劇場、パーセル作曲「ディドとエネアス」のペリнда役。フィンランドのタンペレ・オーケストラ

定期演奏会にて、グルック作曲「オルフェオとエウリディーチェ」アモーレ役。リエージュ・オペラ座で「ホフマン物語」オランピア役。オーストリアで「愛の妙薬」のアディーナ役。他、ベルギーのモザン夏の音楽祭に連続12回、ヨーロッパ各地にてコンサート、フェスティバルに多数出演。また、パッハ「マタイ受難曲」などの宗教曲のソリストも多数。「清楚な印象」、「真珠のような声」、「確かな演技力」、「生き生きとした表現」などと、ヨーロッパ各誌に評価される。2013年より拠点を日本に移し、地元佐倉市民音楽ホールを中心にコンサート活動を行う。二期会会員。

猪村 雅子(メゾ・ソプラノ) Masako Imura

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。戸田敏子、高橋大海、青木美稚子の各氏に師事。二期会会員。

二期会オペラスタジオ研究生、国府台女子学院講師を経て、渡米。滞在中、S・シルヴァン氏の公開レッスンを受ける。

これまでに、オペラではモーツァルトの「魔笛」、青島広志の「黄金の国」、尾上和彦の「ヤカモチ」などに出演し、パッハ「マタイ受難曲」、

モーツァルト「レクイエム」、ベートーベン「第九」などでアルト・ソロを務めた。佐倉市では2007年と2008年に同ソリストを務めている。

メゾ・ソプラノとしての広い声域を活かし、これまで多くの合唱団でヴォイストレーナーとして指導を行ってきた。

2012年からは、四街道市において、市民の方達を対象に、唱歌など親しみのある曲を用いた歌唱と発声の指導を行っており、受講者の皆さんと共に息長く歌い続けたいと考えている。

鈴木 准(テノール) Jun Suzuki

青森県弘前市出身。北星学園大学文学部卒業。東京芸術大学声楽科卒業。卒業時、松田トシ賞、アカンサス音楽賞受賞。同大学院修士課程終了の後、博士後期課程にて音楽博士学位取得。三菱地所賞受賞。

宗教曲では東京芸大「メサイア」ソリスト以来、パッハ・コレギウム・ジャパン「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」など国内外の多くの公演・録音に参加したほか、岡山フィル/アンサンブル金沢・リリング指揮「ロ短調ミサ」、読売日響・カンブルラン指揮モーツァルト「レクイエム」、群響・

チェックリーニ指揮ロッシーニ「スターバト・マーテル」など数多くに出演。

オペラでは「コジ・ファン・トゥッテ」フェランドで東京二期会デビュー。「魔笛」タミーノは東京二期会公演、兵庫芸術文化センター公演、日生劇場公演に出演する当り役。2012年にはブリテン「カーリユー・リヴァー」狂女をロンドンとオースフォードの教会で演じ国際的評価を得た。新国立劇場「沈黙」モキチ、「鹿鳴館」久雄、兵庫芸術文化センター「セビリアの理髪師」アルマヴィーヴァ伯爵等のほか、2014年3月には日本初の舞台上演となったびわ湖ホール「死の都」のパウル役で新境地を開いた。二期会会員。

春日 保人(バリトン) Yasuto Kasuga

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院修士課程音楽研究科古楽・バロック声楽専攻修了。これまでに声楽を、春日幸雄、故正田生次郎、高橋大海、林康子、G.ピリウッチに、ルネサンス・バロック期の声楽を野々下由香里、G.マレット、M.ピッチニーニ、C.ミアテッ

ロ、P.コーイ、G.テュルク、R.ブレイズに師事する。2003年にはイタリアのトリノに留学。「歌いながら笛を吹く」多才なスタイルが評判を呼び、各地での演奏活動はもとより、合唱指揮の分野でも活躍をみせる。

日本ヘンデル協会、日本イタリア古楽協会、日本スコットランド協会各会員。聖徳大学講師。